

【シート2】キャリアステージにおける資質・指導力チェックシート

令和( )年度 園名( ) 氏名( )

5年～10年未満の保育者〈中堅ステージ〉

評価の目安：4 大変良い 3 良い 2 やや不十分 1 不十分

資質・指導力	具体的な行動例	評価			評価理由等
		月 日	月 日	月 日	
①子どもの主体的な学びを保障するための環境構成を行う力 (環境の構成)	いろいろな環境を生かしながら、実践を展開することを楽しんで行う				
	・園内外の様々な環境を保育に取り入れ、豊かな体験ができるようにしている				
	・他の保育室も含めて美的環境・保健衛生に配慮している				
	・子どもの姿を踏まえて、改めて5領域の視点で環境を構成している				
	・子どもの主体性とねらいとのバランスを考えて、環境の構成を工夫している				
	・子どもの発想や願いを受け止め、子どもと共に環境をつくっている				
	・遊具や用具、素材等についての教材研究を深めている				
	・他の保育室も視野に入れながら、人権に配慮した環境を整えている				
	・季節やその時期に大切にしたいこと等を踏まえ、子どもの感性をくすぐるような壁面等、環境が整えられている				
	・他学級の活動や保育の中で大切にしていることを知り、保育の環境構成の設定や調整をしている				
②一人一人の子どもの特性や発達、ねらい等に適した援助を行う力 (援助)	個と集団の育ちを意識して、一人一人の特性や発達を捉え、必要な援助を行う				
	・集団の中で一人一人のその子らしさが大切にされるコミュニケーションを心がけて行っている				
	・一人一人の特性や発達を捉え、適切なねらいをもって援助をしている				
	・様々な実践の中で、状況に応じた柔軟な指導ができています				
	・一人一人に応じて、家庭と連携して、基本的な生活習慣の定着や様々な人やもの、事象への興味や関心を高めるための援助を工夫している				
	・全体的な計画・教育課程等を十分に理解し、育ちに沿ったねらいのもと、援助を工夫している				
	・領域等のねらいを踏まえ、年間を通して計画的に保育を進めている				
	・一人一人のその子らしさを大切に、必要な援助を丁寧に探っている				
	・常に、その子どもと周りの子どもとの関係を意識しながら、集団の中で一人一人を生かした援助ができています				
	・記録を通してその子らしさを生かした適切な援助であったかを保育のねらいとともに振り返っている				

シート2

〈中堅ステージ〉5年～10年未満の保育者

指導力向上に向けての自己診断

資質・指導力	具体的な行動例	評価			評価理由等
		月 日	月 日	月 日	
③ねらいに沿って指導を適切に展開し、改善する力 (指導計画の作成と保育展開・評価)	日々の実践を通して、年間指導計画のねらいや内容、環境の構成、援助を見直していく				
	・自園のねらいや内容を子どもたちがどの程度達成しているか意識し、自らの保育のねらいや内容の在り方を見直している				
	・ねらいに沿った保育を展開しつつ、子どもの状態に応じ、柔軟性をもって対応している				
	・予想外の子どもの活動を受け止め、保育を展開することができている				
	・経験を通して得たことを繰り返すだけではなく、新たなアイデアや感性で保育を工夫をしている				
	・集団における規範意識の育成や望ましい人間関係づくりを保護者にも知らせながら取り組んでいる				
	・子どもの発達や姿から保育を振り返って記録し、ねらいに即した評価を行い、週日案等の改善を行っている				
	・普段の遊びから行事(運動会・表現活動等)につながっていく保育展開を適切にしている				
	・チーム保育を進めながら、他の職員と積極的に話し合い、実践を共有している				
④地域の資源を活用し、指導の充実を図る力 (地域との連携)	地域の資源を生かし、自らの保育を豊かにしていく				
	・家庭や地域での遊びや生活も考慮し、地域の人的・物的資源を活用しながら指導計画の立案や指導を行っている				
	・地域との関わりを深め、地域の自然や文化を自らの保育に生かしている				
⑤保護者や必要な機関と連携を取りながら一人一人の育ちを支える力 (関係諸機関との連携)	記録や評価を的確に行い、実態に応じた対応・学級経営・協力体制づくりを行うため、専門的知識をもって関係機関と連携する				
	・特別な配慮が必要な子どもや集団生活において困難さをもつ子どもの状況や教育・保育ニーズを把握している				
	・様々な種類の障害について専門的知識を有し、可能な限り子どもの困難さを取り除く等、保育を工夫している				
	・要保護家庭、要支援家庭、ハイリスク家庭等を早めに発見し(気づき)、早期の支援につなげることができる				
	・園内で情報共有しながら関係機関との連携に必要な計画の立案や準備、記録、評価を的確に行うことができる(個別の指導計画等の作成と活用)				
	・関係諸機関を把握し、実態に応じた対応や連携が取れるようにしている				
⑥発達や学びの連続性を見通し、指導する力 (保幼小の連携・接続)	小学校等との円滑な接続の必要性を理解し、学びや発達を見通した計画及び実践を行う				
	・連携の必要性を理解し、学びや発達を見通した計画に沿って実施・参加し、内容の充実に向けた話し合いをしている(子ども同士や職員同士の交流)				
	・他の園、小学校の教員とコミュニケーションをとり、必要な計画や、実施、評価が適切にできている				
	・幼児教育において育みたい資質・能力を意識した各年齢における経験や育ちを把握した保育を展開している				
	・各年齢の経験や育ちが小学校でのどのような姿につながっていくのかを理解しながら、乳幼児期にふさわしい活動の展開をしている				
	・保育所保育指針・幼稚園教育要領等、小学校学習指導要領について理解を深める研修会等に参加している(5領域・幼児期の終わりまでに育てほしい姿、スタートカリキュラム等)				
	・保幼小接続期カリキュラムについての理解を深める情報収集に努め、具体的な計画の作成・実施につなげている				

資質・指導力	具体的な行動例	評価			評価理由等	
		月 日	月 日	月 日		
親 育 ち 支 援 力 に 関 す る 自 己 診 断	⑦在園児の保護者に対して子育てを支援する力(保護者への支援)	保護者の相談を受容的に受け止め、適切な助言をする				
		・積極的に保護者とコミュニケーションをとり、保育の理解を得ている				
		・カウンセリングやソーシャルワークの技術の活用に努め、保護者からの相談を受容的に受け止めることができる				
		・保護者からの悩みや心配ごと等の相談や突発的な問題について担当者等に相談し、園内で情報を共有しながら適切に対応できている				
		・子どもの発達を見通した姿や今の姿を認めたお便りや口頭での説明が、保護者に分かりやすくできている				
		・保護者が無意識にしていることの中に、子どもへのよりよい関わり方があることを知らせている				
		・食事、排泄、遊び、子どもとの関わり方等、一人一人の子どもや保護者の状況に応じた適切な助言をすることができる				
		・活動を工夫しながら、保護者同士のつながりがもてるよう支援している				
⑧地域の子育て家庭等を支援する力(地域における子育て支援)	園を訪れる地域の保護者等に対して、親しみをもって応じ、気持ちよく利用できるような雰囲気づくりをする					
	・園庭開放や体験保育等に参加した保護者に対して、親しみをもって応じ、安心して気持ちよく利用できるような雰囲気づくりができる					
	・地域の保護者のニーズに応じて適切な情報提供や保護者への助言ができる					
園 の 運 営 力 ・ 組 織 貢 献 力 に 関 す る 自 己 診 断	⑨学級経営に関わる事務を的確に処理する力(学級経営)	担任としての学級経営に関する責任を果たすとともに、他の職員の相談にのり、助言をする				
		・出席簿や健康に関する書類、安全点検表等日々の記載が適切にできている				
		・児童票や指導要録・保育要録、育成記録等への記載を期限内に適切に行っている				
		・記録の取り方を自分なりに工夫し、子どもの育ちへつなげていくための資料とすることができている				
		・園全体の学級事務に気を配り、提出期限や処理の仕方を指導できている				
⑩園務分掌とその内容を理解し、企画・立案する力(園務分掌)	園務についての理解を深め、後輩の指導をしながら組織の一員として園務の遂行に努める					
	・担当分掌を責任をもって遂行するとともに、新たなアイデアをもって改善や提言をしている					
	・園全体の運営方針・目標を把握し、職務全般に反映させている					
	・園の運営について自分のこととして常に考え、職員会議等においても積極的に前向きな発言ができる					
⑪上司や同僚と協働して、円滑に園務を遂行できる力(職員間の連携)	同僚からの相談に応じて、適切な助言をする					
	・明るい挨拶や豊かな表情で、職員の集団の中で自分の位置を意識した取組をしている					
	・同僚からの相談に応じたり、適切な指導・助言ができる					
	・自ら進んで園務の遂行を図り、職員間の連携への取組をしている					
	・必要に応じて上司等に報告、連絡、相談し、円滑に園務を遂行できるようにしている					

シート2

〈中堅ステージ〉5年～10年未満の保育者

資質・指導力	具体的な行動例	評価			評価理由等	
		月 日	月 日	月 日		
危機管理に関する自己診断	園全体の危機管理を理解し、より安心して、より安全に生活できる環境を工夫し、改善に努める					
	⑫子どもが安心して過ごすことができる施設や遊具等の安全な環境を整える力(安全管理)	・危機管理を意識し、園が作成した様々なマニュアル・ガイドラインを理解し、それに沿った環境を整えている				
		・保育前の安全点検全般の確認を行っている				
		・自然災害発生時の個々の動き、園全体の動きを意識し、訓練時に確実に実践している				
		・不審者対策や交通安全対策について、個々の動き、園全体の動きを意識し、訓練時に確実に実践している				
		・アレルギーや与薬等、一人一人の状況を把握するとともに、保健計画(マニュアル・ガイドライン)に沿った環境構成及び対応について、助言及び支援を行う				
		・感染症予防対策等を考慮し、園全体を見通した清潔、子どもの動線に配慮した環境構成をしている				
		・子どもの心身の状態、体調、けが等子どもの変化を読み取り、適切な対応とともに、保護者への連絡や上司への報告ができています				
	⑬家庭や地域と連携し、子どもが危険から身を守り、安全に行動できるように指導する力(安全教育)	家庭や地域と連携を図りながら、安全や命を守るために指導を行う				
・園内外での安全や命を守るためのきまりについて理解し、子どもの発達に応じて子どもに伝え、安全と危険の違いについての指導ができています						
・災害や事故等の際に瞬時に行動できるような取組を、日頃から遊びの中で工夫するとともに、家庭との連携を視野に入れている						
・お便りや保護者会等を通じて防災・防犯に関する情報を提供すること等について、後輩に助言をしている						
保育者としての姿勢	自己課題をもって研修に参加するとともに、園内研修において後輩と園長等の考えをつなぐ					
	⑭保育者として自分の課題を発見し、自己研鑽していく力(自己研鑽)	・日々の保育を楽しむ工夫を、後輩や同僚と話し合い、実践につなげている				
		・自身の保育を高め、後輩や同僚、同業者や保護者に保育の内容を説明できる力を身に付ける努力をしている				
		・園等職場での研修会に積極的に参加するとともに、企画にも携わる等、資質向上に努めている				
	⑮乳幼児期の発達や学びを踏まえた教材の研究をする力(教材研究)	個々の育ちに応じた保育が展開されるための教材の準備をするとともに、後輩の相談にも応じる				
		・ <u>もの</u> との関わりを深めるような教材を研究している				
		・子どもの発達を促すような遊具や用具を研究し、準備をしている				
		・園全体で職員の音楽や物作り等の技術が高まるような取組を行っている				